

大島真理子様：

老テク研究会の大島でございます。

今福田先生のほうから一番最初冒頭お話のトップにマイナンバー制度の世界観というのを今日話したいとのお話がありまして大変期待いたしました。

で、頂戴しました配布資料の一番最後のところに、ロードマップで言うと2020年のところの一番下のほうに、「全国民が個人番号カードを保有できる、そして世界最先端のIT国家へ」、それが書いてあります。で、この辺がよく私たちにまだ見えてないなって。

そんなこう大ぼらを吹くよりも、年金どうすんだとかそれも大事なんですけども、今若宮さんのお話の中にもあったように、どういう国にこれからなっていく…高齢化社会で困ったとかですね。介護費用がかかって年寄りはどうか行ってくれないかとかそういう話ばかりじゃなくて、借金も山のようにあるし…(それは)わかっていると。でもどこを目指すのかっていうことが知りたいなっという風に思っておりました。

私すごく疑問に感じてるのは、幸せ家族感ってていうのをさっき若宮さんが言っておられましたけど、現在のもう家族の形って80歳で独居の方とか別にめずらしくないですね。

それから高齢化になってくると施設に入っておられるような方、ですから住民票を移して、ますます届くときに住民票が基本です。住民票移していない人がたくさんいます。

それからこの前の国政調査の時ですけども私の姑は特別養護老人ホームに入ってますけど住民票を移してます。選挙があるので、で、おばあちゃん「国政調査どうした？」っていうふうに言ったら、「え？何も言ってこなかったような気がする」とっていうふうに言ったんですね。

私はIDとそれからパスワードの書かれた開封された紙がうちに配られてきたので私はスマートフォンでは世帯ということだったので私が主人の分も全部スマホとかでやったんですね。これが私できるということは特養の職員とか山のようにそれが来たわけですよ、実際どうなされたかは知りませんが。

私が職員だったら、さささささっといれてぱっとしまってしまうみたいなことで、あー楽って思うみたいなふうに思うと思うんですよね。

ですから家族形態がものすごく多様になってきているので、個人番号で、一番下にもものすごく良いことが書いてあったんですけども、一番下のところで、資料の、「国民が情報を管理される社会から国民が自己情報を管理・コントロールする社会に、ということを目指す」ということを言っておられて、これ素晴らしいことだと私は思うんですけども、なかなか今

世帯とか個人というのがすごく混在してしまっていて、実際これから配られてくるときも世帯単位で配っていくと。

実際例えばですね、確定申告とかは全部個人で家族でも1人ずつでやりますよね、もう大人の集合体のもし家庭であれば。でも社会保障とかそういうものってのは世帯でってことになるので私は世田谷区の役所に、これあのうち大人の集合体なので個人でやってほしいんですけどかって言ったら、そんなこと役所に言われてもお国に言ってくださいとかって。

じゃあ世帯分離とかってしない限りダメなんですかって言ったら、世帯分離って言っても離婚してもらうしかありません、みたいな感じでですね。個人の集合体が家族なんだっていう考え方にたぶん変わらなくちゃいけないんだなって言う風に思うんですね。

そうするとその個人の中にはもちろん今日ちょっと少ないですけども女性もいますし高齢者もいるし障がいを持っておられる方もいたりとかですね。

多様な、あるいはこれからはですね外国籍の方とかもたくさん家族の中に入ってくると思うので、独立した個人が集まってその家庭とかってものを作ってくっていうたぶん今までになかったような考え方の国に日本はこれからはなっていくんじゃないかな。

そうすると個人というのが非常に大切になってくるので自分の情報は自分で管理しましょうということを最初世界観ということで冒頭おっしゃましたそういう国に目指しますよということを言っておられると思うんです。ですからその辺そんなに私は難しいことではないと思うので、もっと言っても良いんじゃないかと思いますね。

そうすると特別養護老人ホームに入っている人の情報管理の問題とかそれから私ちょっと別の勉強会に出たときに小さなNPOがやっているような介護サービスの事業者の方たちがすごく心配してるんですね。

そういう個人情報みたいなものを預かってデイサービスとか一定の時間とかサービスを提供するので自分たちの責任っていうのがどの辺なのか。それから何か罰則規定はあるのかというようなことがですね、

すごく今小さな、小さいとこじゃなくてもそうだと思いますけども、どうしたらいいのかということで何かすごく負担がかかってくるんじゃないかっていうようなことを心配しておられるんです。

で、介護事業者に負担がかかるとダイレクトに高齢者のほうに、書類書くの忙しくておばあちゃんの後ろでトイレ行きたいって言っててもちょっと待ってみたいなことに、今でもな

ってるところがあるんですね。だからさらにそれが、負担がかかってくるというようなことはどうなのかなということはすごく心配しておられたりしました。

本当に罰則規定というものをとてもあのどのように運営していったらいいのかということ、特に移住型の施設を運用される方とかはやっぱり命と安全を預かるわけなので、もちろん個人情報も預かるわけなので、その辺でとても心配しておられたりもしてました。

でも今日素晴らしいお話を聞くことができましたので、何とか世界最先端のIT 国家、その中身は高齢者ですから日本の場合。

ですから高齢者のIT化というのがたぶん要になるんじゃないかなあという風に思いました。本当に今日は良いお話をいただきましてありがとうございました。